

安全確保への取り組み

■ ノロウイルス対応

ボラパック第4便が活動していた5月19日、同じく山田町で活動中の他県のボランティア1名からノロウイルスが検出されました。それに伴い、山田町災害ボランティアセンターおよびボランティア宿泊施設（武道場）は、消毒作業等のため21～23日の3日間閉鎖することとなりました。当センターがその連絡を受けたのは、20日にボラパック第5便を山田町へ送り出した直後でした。ボランティアから被災地の方々への感染拡大を防ぐことを最優先とし、医療関係の方々からのアドバイスを受けて対応しました。急な予定変更となりましたが、第4便5便の休憩・宿泊所や移動のバスの手配、第5便の気仙沼での活動のコーディネートなど、多くの関係各所からご協力をいただきました。

■ 津波警報・注意報発令による避難

未曾有の大地震により、現地では余震が頻繁にあります。活動中のいつ何時津波警報・注意報が発令されるかわかりません。当センターでは、震度5弱以上の余震が発生もしくは津波警報・注意報が発令された場合、直ちに現地のリーダー・サブリーダーと連絡を取り、避難を確認するとともに参加者全員の安否確認を行うこととし、これらの情報はツイッターやホームページ等で報告させていただきました。



◆第9便 6月23日 6:51

岩手県沖でのM6.7、震源の深さ20kmの地震による津波注意報発令
(山田町八幡町での震度4)

◆第13便 7月10日 9:57

三陸沖でのM7.1、震源の深さ10kmの地震による津波注意報発令
(山田町八幡町での震度2)

■ 台風接近による日程変更

台風接近とバス移動日が重なりそうな場合、参加者の安全を第一に考え、バスの行程・ルート、活動日程を変更して安全を確保しました。

◆台風6号 第15便 現地活動日程を1日繰り上げ、7月20日に山田町を出発（台風が東北地方へ接近する前に出発）

第16便 出発日を1日遅らせた7月21日に出発（台風が三重県を過ぎた後に津を出発）

◆台風12号 第25便 9月2日の津出発時間を午後から午前に変更（台風が三重に接近する前に出発）

■ 安全管理マニュアルDVD作成

【みえ発！ボラパック】ではボランティア活動中だけでなく、また活動以外でも「怪我・病気・事故」等、様々なことがありました。大きな怪我をされて数針縫った方もいらっしゃいます。そのような事故を未然に防ぐため、ボラパック経験者の有志が集まり、自分たちの災害ボランティア経験に基づく「安全管理マニュアルDVD」が作成されました。

作成されたDVDは、山田町へ向かうバスの中で参加者の方々に見ていただき、災害ボランティア活動経験のない方でも「安全な作業方法」「道具の正しい使い方」などを簡単に学ぶことが可能となりました。



■ その他、安全確保への取り組み

※出発前の事前説明会にて「安全衛生」に関する説明

※チーム内の健康管理のため、安全衛生係の設置

※各活動先に持って行くための応急箱の準備

※安全衛生に関するリーフレットの作成と配布（右のイラスト）

※メンバーの怪我や病気を「健康管理記録票」により報告

※活動中の「ヒヤリ」としたことや「ハッ」としたことを「ヒヤリハット報告書」で共有



【山田町の皆さんへ】震災が起きなければ行く事も知る事もなかったであろう山田町。きっかけが震災というのは悲しいけど、自分の故郷・地元に近いで今は第3の故郷と言っても過言ではありません。復興まで見届けたい気持ちで一杯です。（第8・23・32便 谷畑哲勇さん）